

## 【目次】

### 1. アーカイブ No.15

連載「日本労働会館物語」第 12 回 2010.06.30 発行の第 13 号に掲載

### 2. 一般財団法人日本労働会館 2023 年度第 3 回 理事会を開催

### 3. 2024 年 4 月 27 日(土)～5 月 6 日(月)の期間、友愛労働歴史館の臨時休館のお知らせ

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

### 1.アーカイブ No.15

連載「日本労働会館物語」第 12 回 2010.06.30 発行の第 13 号に掲載

連載「日本労働会館物語」第 12 回

<クレイ・マッコレーーその 2>

クレイ・マッコレーーは 1889 年に来日し、1920 年に帰国するまでの約 30 年（1900～1909 年を除く）、日本に滞在しています。この間、マッコレーーはユニテリアン協会・惟一館（友愛会館）の建設、ユニテリアン・ミッションの活動、ユニテリアン教に関する著作の発表などを行っています。また 1912（大正元）年の友愛会結成では、物心両面で鈴木文治を支えています。

米ディキンソン大学の Diana Coscette 氏はその論文「クレイ・マッコレーー伝」で、マッコレーーの日本での活動について次のように記述しています。やや長くなりますが、引用いたします。

「アメリカのユニテリアンの影響が増し、1890 年、マッコレーーは最初のユニテリアン教会を東京に設立します。ユニテリアンは和合を進め、それが進歩や国民のアイデンティティをもたらしたという感触もあり、日本政府や知識人たちは、すでにユニテリアンの考え方を把握していました。しかし、ユニテリアン主義は、確たる宗教とはなりません。日本の指導者たちは、日本人の道徳観や文明化を進めるために、ユニテリアンの理想を利用したに過ぎなかったのです。

1891 年にマッコレーーは先進的な学問を修めるための学校、先進学院の校長となり、歴史哲学、神学の教授を務めています。さらに 1910 年から 1916 年にかけて、日本アジア協会の会長も務めています。外交官、ビジネスマン、宣教師などによるこのグループは定期的に会合を開き、日本について更に学ぶことや、『日本アジア協会紀要』に情報を載せることなどを話し合いました。また彼は 1915 年から 1916 年まで東京の記者クラブ『国際報道協会』のメンバーでもあり、1916 年から 19 年まではキリスト教の平和改革

団体である『日本米國平和協會』の会長をも務めています。マコーリーはその業績により 1909 年に旭日章を、1918 年に瑞宝章を受賞しました。

マコーリーは英語と日本語で多くの本を出版しています。例えば、1891 年の『歴史のなかのキリスト教』、1896 年の『日本語入門コース』、そして 1911 年の『今日の思想と現実』です。彼の最も人気のあった本は、1899 年に出版した日本の古典、『百人一首』の翻訳本です。この本では、日本語の文法や発音の説明もなされています。彼の英語による著作は、日本に関する未知の学術的情報を生み出し、日本研究の新たな方向を作りました。海外でのマコーリーの研究を見ると、クラウゼ哲学の影響が、彼の 1925 年の著作『思想と人生の勇氣ある開拓者』・『メモリアルレコード』、1914 年に出された『思い出と回想録』—これは彼の人生の業績についても論じた自伝—のなかに見られます。また戦争体験、日本での宣教師活動、クラウゼ哲学の影響が、1919 年の著作『戦時の小論』に見られます。

30 年にわたる日本滞在の後、1920 年にマコーリーは退職し、マサチューセッツ州ボストンへ帰ります。残された人生を、彼はカリフォルニアのバークレイで教鞭を執り、執筆を続けます。そして 1925 年 11 月 15 日、マコーリーは腹部腫症のため亡くなりました。

こうしてクレイ・マコーリーは波乱に満ちた成功の人生を全うしました。宗教的な家庭で育ち、やがてユニテリアンの牧師となりましたが、その間絶えず哲学、特にクラウゼ哲学を通じてキリスト教の“真理”に疑問を持ち、研究を続けています。またアメリカ、ドイツ、アジアへの旅で、宗教的主体性や幅広い考え方を身につけました。彼の多くの著作や教会での説教は、日本での宣教師活動と共に、ユニテリアンの歴史の中に確かな足跡を残したのです。」（連載第 12 回終り）

## 2. 一般財団法人日本労働会館 2023 年度第 3 回 理事会を開催(3 月 26 日)

3 月 26 日開催された理事会の次第は以下の通り。

- (1) 開会挨拶
- (2) 議長(代表理事)挨拶
- (3) 事業報告
- (4) 2023 年度決算予測
- (5) 議案 1 2024 年度事業計画(案)承認の件  
友愛労働歴史館事業、労使関係研究協会事業、宿泊事業
- 議案 2 2024 年度予算(案)承認の件
- 議案 3 (一財)日本労働会館の役員体制について
- (6) 次回以降会議日程について

尚、友愛労働歴史館の新たな取り組みとして、常設展示の解説講演「友愛会・総同盟を中心とする日本労働運動の 100 年余」の出張講演を始めることが決まりました。講師料・講師派遣旅費などは必要ありません。友愛会の原点、鈴木文治(友愛会創立者)、松岡駒吉(総同盟会

長)のメッセージなど「歴史は未来を見る鏡である」と言われるように、ぜひ組合員教育や役員研修会での利用をお願いします。

#### 4.お知らせ

①ゴールデンウィーク期間の友愛労働歴史館の臨時休館のお知らせ

4月27日(土)～5月6日(月)の間は、友愛労働歴史館は臨時休館とします。

-----*「人間の尊厳、進歩と発達のために」*-----

発行:友愛労働歴史館

責任者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL050-3473-5325

Eメール [yuirodorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuirodorekishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

-----*惟一館から129年、友愛会から111年*-----